

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年4月20日(2017.4.20)

【公開番号】特開2015-199945(P2015-199945A)

【公開日】平成27年11月12日(2015.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-070

【出願番号】特願2015-73460(P2015-73460)

【国際特許分類】

C 08 J 9/35 (2006.01)

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

【F I】

C 08 J 9/35 C E T

C 08 L 101/00

C 08 K 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月14日(2017.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連通した空隙を有し、空隙率が5～60%である熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の前記空隙に、スメクタイトを含有する、セメントまたは石膏の硬化物が充填されていることを特徴とする複合成形体。

【請求項2】

前記スメクタイトが、モンモリロナイトを含有することを特徴とする請求項1に記載の複合成形体。

【請求項3】

前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の空隙に前記セメントの硬化物が充填されていると共に、前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の重量(W1)に対する、前記セメントの硬化物の重量(W2)の比(W2/W1)が3以上であることを特徴とする請求項1または2に記載の複合成形体。

【請求項4】

前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の空隙に前記石膏の硬化物が充填されていると共に、前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の重量(W1)に対する、前記石膏の硬化物の重量(W3)の比(W3/W1)が3以上であることを特徴とする請求項1または2に記載の複合成形体。

【請求項5】

前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の密度が5～30g/Lであることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の複合成形体。

【請求項6】

複合成形体の密度が100～300g/Lであることを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の複合成形体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】